

# 御宿台

Onjukudai-ku News

2001 冬号

No. 3

区運営委員会編集・平成13年1月1日発行



「迎春」 21世紀の幕あけを寿ぐかのように、網代湾の遙か沖合い大太平洋上に  
今日も感動の曙光が輝きをみせています。

写真：安保久武 (230-04)

## 高齢化・長寿社会を考える

現代の日本は経済先進国の中でも最長寿国の一つとされています。21世紀の日本は、他のいかなる国も未だかつて経験したことがない高齢化社会に突入しようとしています。条件さえ整えば、私達はリタイア後にも15~20年の長期にわたり、ありあまる自由と時間を存分に享受することが出来るわけです。

しかし、一方では、老いに伴う健康維持の難しさ、経済的制約下での生活維持、生きがいの探求、そしてその先…と光と影が交錯しています。

経済的事情には個人差もあり如何ともしがたい面がありますが、これは決定的要件ではありません。なによりも重要なことは、各自が置かれた状況の中で、可能な限り心身の健康を保ちながら日々充実した生活が送れるという事ではないでしょうか。いつ襲って来るかもしれない病や心身の老化現象は不可避で

あるともいえますが、どんな状況の中にあっても常に心の若さを保ちたいと願うのは人間誰しもでしょう。

アメリカの教育者でもあった詩人サミュエル・ウルマンの詩「青春」(Youth)に曰く。「青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ・・・年を重ねるだけでは人は老いない、理想を失うときに初めて老いがくる。」(岡田義夫訳)

自然や事物に対する興味や探究心、感動や希望が私達に若さとエネルギーをもたらしてくれます。そこで、適度の節制や運動は言うまでもなく、趣味や学習、人との交流、社会参加などが大きな意味を持つようになります。

「太く短い人生」は昔の話、努力と工夫によっては、「太くて長い人生」も可能になるかも知れない現代です。新しい世紀を迎えたいま、御宿台の未来に私達は何を期待するのでしょうか。

(広報担当 水本 清司)

# 御宿台区の動き

## アンケートの結果報告について

西武管理事務所のアンケートの結果は、すでにお手元に送付されていますが、ここで問題になるのは次の3項目です。  
(1) 特別管理充当金の扱い (2) 巡回ミニバス問題 (3) 管理費で未建築土地の草刈費を負担することの是非

**特別管理充当金は**、条件付きでしょうが、相当数が西武の提案に同意しています。

受益者負担の原則に異論はないとしても、管理協定の規定が多義的で不明瞭であったことが、混乱の主因です。この解決には次の問題をつめる必要があります。

- イ、今後10年間の充当金取崩し計画の有無と経費支出予想。
- ロ、現在の払込み金残高2.6億円(金利を含む)と未販売分約1.5億円の扱い(500区画×30万円)
- ハ、近く黒字化する管理費との関係。

汚水処理とCATVの施設は、今後とも定期的な消耗部品の交換で、充当金の取崩しはそれほどない見込みです。問題は平成22年に予定される地上波デジタル化計画に対応して、多額の設備投資が掛かりそうなことですが、今後の技術の詰めではどうなるか、現状は想定困難です。

10月23日には汚水処理場の現場見学と説明会を実施しましたが、テレビ施設についても業者の説明会を予定しています。

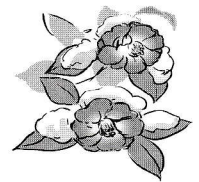
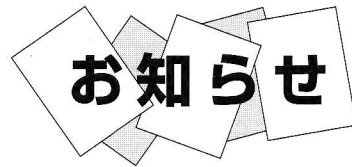
**巡回ミニバス**は意見が割れました。別荘の方は反対し、定住者は賛否両論。現に不自由のない方は、クールに考えられたものと思います。理解はできますが、これに依存している方には廃止は致命的です。バスの利用目的は、JRダイヤとの連絡よりは、日常的な買物と通院、銀行、郵便局などの用達が多く、これに合わせた運行が、便数を増やすよりは重要のようにも思われます。存続には幾つか問題の検討が必要です。

- イ、契約改訂で支出がどの程度に削減できるか。
- ロ、町から補助金がでないのか。
- ハ、町営公共バスの運行で代替できないか。



なんとか存続できないものか?

**土地保有者の草刈費を**、戸建所有者が管理費で負担するのはやはり問題があり過ぎます。土地保有者の方の意見で、現状に賛成というのは、管理費負担は“当然”と短絡的に主張しているのではなく、間にいる西武の責任を問うていると思います。原則をはっきりさせ、現実的な解決をするべきでしょう。



## 「ちょっと一言」

ツツガ虫病に注意しましょう。

青葉クリニックの院長先生からの警告です。昔から新潟地方の風土病として知られており、刺されるとツツガ虫病を発症させるツツガ虫(小さなダニの一種)が御宿台にも生息するようになり、院長先生自身も刺されて発病を経験されたそうです。既に御宿台にお住まいの方にも発病例がありますので御注意ください。

発病すると、症状は風邪をひいたとの勘違いをする場合が多いようですが、高熱が続く場合は早めに医師の診断を受けることをお勧めします。

# TOPICS

## 御宿台定住の方々のご活躍をお知らせします

- 養老正也さんが11月から“月の砂漠記念館”館長に就任斬新な企画と構想で新しい息吹の誕生を期待します。
- 池田忠利さんは、“王子と姫の旅-fantasy2000展”の公募作品展で大賞を受賞されました。
- 小田哲夫さんは、“ラビドール クリニック”で、医師として勤務されます(木曜日~土曜日)。高齢化の進む御宿台に何かと良いアイデアを考えて頂きたいものです。
- 加藤一輝さんは、五倫文庫の資料検索をインターネットで県立図書館にリンクさせる仕事を委嘱されました。

## 詠むら

\*春を待つ海は静かに息づけり

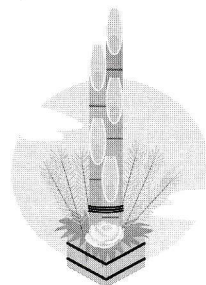
岡田まさし

\*機嫌よき咳ひとつ父の春

小野玲子

\*新世紀荒波分くる初日の出

岩田 明



## 三二情報

11月30日現在

御宿台開発状況

売却済分譲区画: 1001区画 定住届出: 253戸

建築中: 17戸 建築戸数: 596戸

乗合タクシーの利用

9月/391人 10月/361人 11月/324人

# サークル紹介

# 御宿あれこれ

## 御宿台テニスクラブ

親睦会発足時に誕生した御宿台テニスクラブも5年目を迎え、当時初心者だった人達も十分にゲームを楽しめるようになりました。そこでクラブ活動の状況などを紹介します。

現在、会員数24名(男性11名、女性13名)、定例練習は毎週月曜日と木曜日、御宿台公園テニス場において行い、午前は練習、午後はゲームに大別しています。出席者数は、14名~18名程度とコンスタントな集まりとなっています。

さて、楽しみを増すために年度毎に年間計画を立てます。ちなみに今年度の計画を記します。

5月 2泊3日の合宿(実施済)

7月 郡大会に出場する女子チーム援助  
(結果は4年連続優勝)

9月 船橋高校OBと親善試合(12勝12敗引分)

11月 町の文化祭テニスに参加

12月 忘年テニスお楽しみ会と忘年会  
以上の如く全員で大いに楽しんでいます。

(☎68-5482 小林 英輔)



## 新しく発足した 御宿台ゴルフクラブ

御宿台のゴルフ好きの人達が集まり、この恵まれた環境のもとでゴルフをする機会を多く提供し、ゴルフが初めての方、プライベートだけのプレイをされている方にも、気軽に参加していただき、プライベートなプレイでは味わえないコンペの楽しさや、ご自分のハンディキャップを持ってプレイする経験を積んでいただくこと、更に御宿台の住人としてお互いの親睦の輪を広げることができればと、2000年秋に発足したサークルです。

毎月第一金曜日の一日を、自然を満喫しながらゴルフを楽しみ、後は御宿台に帰り「喫茶らくだ」のくつろいだ雰囲気の中で、美味しいコーヒー等を嗜みながらの歓談の一刻を過ぎ親交を深めています。

御興味のある方は気軽にご一報下さい。

(☎68-6170 紙谷 利夫)

## 永遠の今を生きる

役場を左上に見ながら実谷へ向って坂を上り西琳寺第一隧道を抜け、そして下ると十字路あり、左へ細い道を行けば西琳寺という叢庵がある。この隧道も以前は西琳寺集落の人の手によって掘られ暗夜には手探りで通り抜けたものである。

昭和40年頃までは水車があり、夏には蛍が飛び交い、川にはふなっこやどじょうこやらが棲息し今より自然の豊さを感じられたように思われる。古老に聞いた話であるが昔は穴居生活をしてきた跡があったとか。温暖の地であればさもありなんと。

ともあれ、21世紀を目前にしている今、「われわれは歴史の観察者たる以前に、まず歴史的存在である」というディルタイ(ドイツの哲学者)の言葉を味わってみたい。私たち一人ひとりが歴史をつくっていく責任ある主体性を持った存在であるということであろう。終戦を境に今世紀は、あらゆる面で大きく変動してきている。人間の都合で地球環境をも危うくしつつある。そのことによりやく気づいて様々な方策がとられようとしている。まずは脚下照顧、身近なできることから実行するしかない。

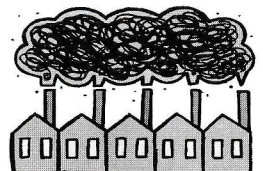
物理学では150億年程前にビッグバンがあったといわれ今も限らない膨張を続ける宇宙の壮大な活動は、人間の思惑と関係なく展開している。試みに海に行ってみよう。寄せては返す波を見ていると1分間におおよそ18回、その倍の36は人の体温、その倍の72は脈拍、その倍の144は血圧、その倍の288は人の誕生までの胎教の月日とされる。

この事実の中に息していることに畏敬の念を抱かざるを得ない。悠久の時の流れにおいて宇宙とぶっ通しの命を頂いているに等しい。さすれば、古えを慕いつつ今を大切に日々新たに豊かな心を育み未来へ伝えてまいりたいと願う。

春は花、夏ほととぎす、秋は月、冬雪<sup>ユキ</sup>冴えて冷しかりけり

(傘松道詠)

(西琳寺 殿城 玄龍)



最高級そばと地酒の店

そば処

# 竹むら

御宿台店  
☎68-8888

御菓子司

# 海月堂

製造発売元

御宿町須賀572  
☎68-2345

一人前より 出前迅速

# うぶぎ 鶏丸

高山田 高校前通  
☎68-4867

ペンション・中華レストラン

# チャイナ

御宿台出前OK!!  
☎68-2920  
ニクニレ

本格手打の店  
粉は国産石臼碾

# 七

上布施  
☎68-5220

## ◆ 御宿に来て

海を隔てた神奈川から移って、春、夏、秋と約8か月を体験しました。明るい陽の光と海風にもようやく慣れてきました。朝夕の犬の散歩の途中眼にとまる樹木や野の花も、これまでとだいぶ違って新鮮に感じます。

越して間もなく親類縁者がどっと押し寄せ、よちよち歩きの孫は、花をつみ砂浜では大はしゃぎでした。また米寿を迎える母は題材選びに2週間泊まり、20首の短歌をおみやげに満足して帰りました。今度は友人、知人と第二波がありそうです。間もなく冬ですが、一緒に引越した寒さに弱い花木がこの温暖な地ではどうなるか今からワクワクしています。また、来春には海が苦手という臆病な犬と、波打際を散歩したいと思っております。

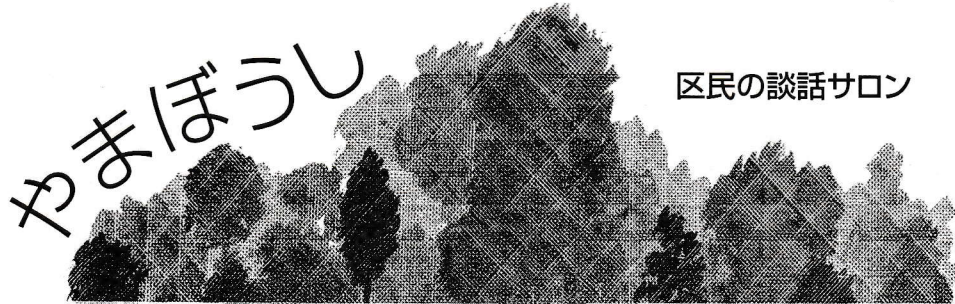
この土地の四季や風土、風習になじみ、順応するにはまだ時間がかかりそうですが、ゆったりとしたペースを心がけて過ごして行きたいものです。(405-03 高橋 義明)

## ◆ つれづれに……

御宿の海原を、あたり一面黄金に染めて沈む太陽を、窓辺から望み見るのも最高なら、星の本を片手にきらめく星座を子ども達と見あげる楽しさは格別。又、野うさぎがお庭訪問、かわいい姿をかいま見る家事の合い間の一時、まして銘記すべきは、逝く春を惜しむ頃、晩春に我有りと咲き誇る山桜は、まさに桜花爛漫、その下で頂くお茶の何とおいしい事か。姑も母も「長生きしそう」と思われ親孝行をさせて頂いております。こうした四季折々の自然の恵みも、ここ御宿ならばこそひとしお、という感じが致します。

唯、地域活動など不慣れの事も多くご迷惑をかけているのではと申し訳なく思っております。又、教育、とりわけ上への進学等につきましては今からあれこれと思ひ煩う事もありますが、支えて下さる地域の人達、そしてご近所のやさしい御親切な方々へ心から感謝しつつ、心ゆたかにすこやかに日を重ねたいと常日頃思っております。

(123-07 中村 妙子)



## ◆ どこでもボタン

この頃、E.T.とかI.T.とか言う言葉をよく耳にする。どうやら政府は私達にコンピューターを使わせるらしい。炊飯器のタイマーは便利だがその他のボタンは使えないし、ビデオの予約などできこえない、そんな私達にである。

私とて、時々耳にする「これ注文したの、簡単よ」とか、「田舎にこそあった方が便利よ」は魅力的だ。しかし、なにせ機械音痴である。できれば目の前にある物だけで満足して暮らしたい。

晴耕雨読とゴルフ三昧、しかし図書館がない、デパートがない。病院が…… やっぱりこのボタンは押せる方がいいのかなあ。本やビデオが自由に借りられ、知りたいことをいつでも身近にもってこれるのだとしたら、光あふれるこの地に、もう一つステキが追加されることだろう。

(320-03 塩崎 昌彦)

## ◆ 乗合タクシーの継続について

住み馴れた横浜から少しでも暖かい終の棲家を求めて御宿台に移り住んだのは、リタイア翌年の平成元年3月でした。住んでみまして、いろいろ不便な点もありましたが大体予想したとおりで総合的には満足しております。ただ、街中までの足ですが、車の無い私としては頼りは自転車で、少々坂がきついですけど何とか用を足しておりました。2年前に遂に電動補助の自転車に替えてその後はあの坂も大変楽に走っております。

しかし、この自転車も電池の関係から結構重量がありますので取扱い上からあと何年乗れるか心配ですし、御宿台の皆様方も当然高齢化が進みますので折角の乗合タクシーを今後も継続して頂けるようお願いしたいと思います。

御宿台区発足に伴い、初代区長さん及び役員の方々には、問題が山積して大変ご苦勞様です。

(118-12 西岡 哲哉)

## 編集 後記

あけましておめでとうございます。皆様にはこの輝かしい21世紀の初春をさぞや感慨深くお迎えのこととお察し申し上げます。

今回の区報は御宿台が行政区として発足してから初めての記念すべき新年号になりますので、それにふさわしく数々の御寄稿を掲載させていただいた上に、第一面の写真をその道の大家達、安保久武さん(230-04)にご協力願って初めて

カラーといたしました。お蔭さまでお正月らしく見事に仕上がったものと思って私達編集委員一同自画自賛しております。

今年も区の運営については難しい問題が山積しており、その解決には委員会への努力にも限界がありますので区民の皆様には昨年同様、引続き温かいご支援、ご協力を頂きますよう心からお願い申し上げます。(稲村)

## 区運営委員会委員

鈴木正也	会長	210-13 68-6961
稲村敏彦	総務	102-09 68-6271
滝口義雄	環境	103-09 68-3661
矢作舜二	会計・衛生	238-12 68-8677
水本清司	広報・記録	313-02 68-3115
佐伯光一	衛生・環境	405-12 68-6360

【情報】

乗合タクシーの運行を継続するために

西武アンケート報告でみられる通り、乗合タクシーの赤字を単純に管理費で賄うには金額が大きく、その他の幾つかの選択肢を検討しております。乗車賃の値上げは限度があり、実質的に赤字解消の決め手にはなりません。西武と共同で下記の要望書を提出し町当局と折衝を始めました。補助金方式には困難が予想されますが、一案として町行政による乗合バスの運行も検討されています。また、外房タクシーの継続交渉もこれからの問題です。買物、通院、用達しに、何とでも足の確保はしておきたいものです。

平成12年11月9日

御宿町町長 加藤 長 様

御宿台区長 鈴木正也  
西武管理事務所長 平賀達也

乗合タクシーの運行継続に補助金のお願い

御宿台では平成 8年から乗合タクシーの運行を始めました。西武不動産管理事務所が住民の利便と開発促進を兼ねて、5年間に限定して実施したものです。利用者数は月間平均して400人前後ですが、住宅地域内の乗降に便利な扱い、前売券制度の変更、御宿台住民に限定した利用者制限の撤廃、買物、通院に便利な運行ルートの新設など、利用しやすい運営を行えば、利用者の増加は十分に期待できるものと思はれます。

現状は年間支出費用の730万円にたいして、運賃収入は90万円（片道200円）差引き年間約 600万円の赤字を計上しております。タクシー会社との契約は来年6月には契約期間満了となり、この継続について苦慮いたしております。御宿台住民の現在は、JR駅、買物、通院などの足の便に、多くは自家用車を利用してはおりますが、自家用車を持たない向きには、乗合バスは生活に不可欠な交通手段となっております。当住宅地も毎年平均して数十戸の新築が増え、定住者も着実に増加の傾向にありますが、同時に既定住者の高齢化もすすみ、乗合タクシーの存在は御宿台に住む者に安心感を与え、この住宅地の活性化のシンボルを示すものといえます。

すでに御宿町では、路線バスの廃止のあと過疎化と高齢化の進む町内の遠隔地には、町営バスの運行を実施し住民の便宜に供しておりますが、御宿台についても、ほぼ同様の事情にあるものと考えます。ただ住民に利用しやすいように、広大な宅地内にバス停留所を7か所設け、巡回バスの形態をとっております。将来、町全体の交通を総合的に構築するときに、どう組み直すかの問題はあるかもしれませんが、当面は補助金の方式で、現行タクシーの運行継続を計って頂ければと存じます。

契約先 外房タクシー(株) (現在の契約当事者は西武不動産)  
小型バス 定員 9人 御宿台～御宿駅 1日 6 回往復

「御宿台で現在運行しているミニバスを、平成13年6月以降も継続できるように、明年度の赤字見込み額600万円相当額の補填につき、補助金の交付を申請いたします。」

以上

[情報]

道路の整備舗装と軽自動車の普及と

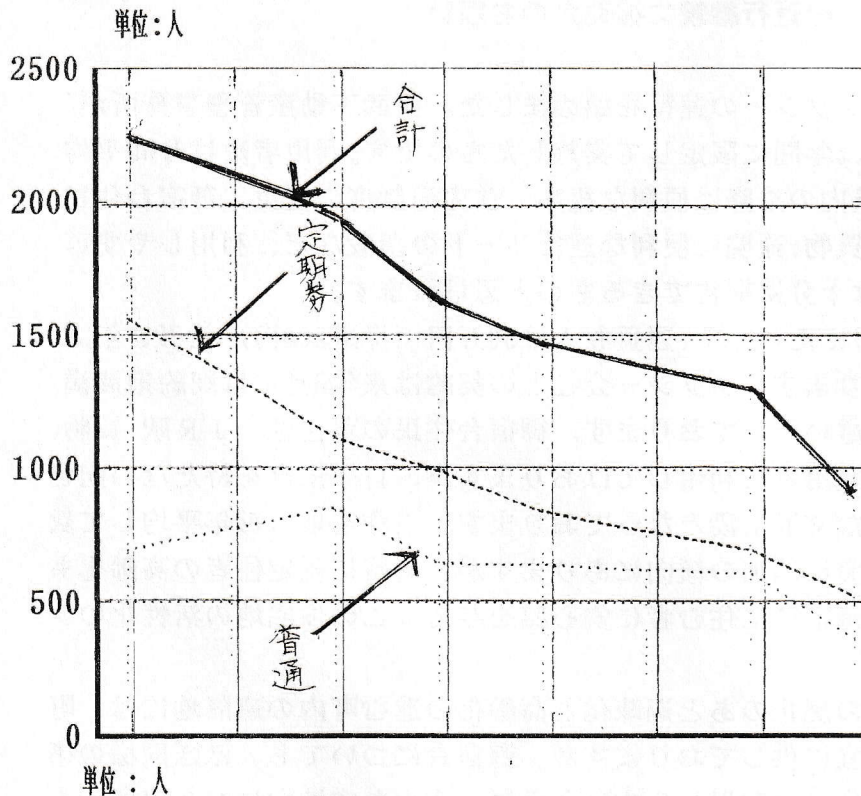
— 路線バスの廃止、JR利用客の減少、商店街の衰退

グラフをご覧ください。過去 25年間、御宿駅の乗車客は一貫して右下がりが続いています。この主要な原因は定期客の減少です。理由は多分、通勤者が路線バスとJRの利用から自家用車に切り替えたからと推測されます。さらに細い点線をみると、昭和50年から55年の5年間で平成7年以降は、とくに一般の利用客が急激に減っているのが判ります。景気の悪さで財布の紐が堅くなったのか、他の交通機関、自家用車、貸切バスに切り替わったのか、いずれにしても、夏場の減少によるものと思われます。

道路が良くなり、自家用車が普及し、大店法も規制緩和されたために、国道沿いに大型店、専門店の開店が相次ぎ、消費者には便利になりました。商業圏は少なくとも30kmに拡大しています。「町づくり、長期計画」を考えると、この現実を直視して、ここから出発しないと、また違いの空理空論になるのではないのでしょうか。

[資料] 御宿駅乗車客の推移

— 合計 — 定期 — 普通



海水浴客の利用交通手段

	単位: 千人	%
鉄道	83	16.0
自家用車	364	70.1
貸しバス	5	1.0
その他	67	12.9
合計	519	100

海水浴の客宿泊施設

	単位: 千人	%
旅館	21	16.3
民宿	66	51.1
別荘	16	12.4
その他	26	20.2
合計	129	100

注: 平成12年(7~8)

	昭40	昭45	昭50	昭55	昭60	平2	平7	平12
合計	2270	2134	1976	1650	1491	1402	1317	* 900
定期	1575	1357	1121	997	844	773	703	* 530
普通	695	777	855	653	647	629	615	* 370

\* 平成12年の数値は7~10年の減少カーブからの推測による。

注: 25年間に利用者は60%も減少、大原 勝浦も同じ、定期客が1/3になる。昭50~昭55(23%減)と平成7年以降(40%減)は普通客が激減。